

論理・表現 I

単位数	2 単位	対象学年	1 学年	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	BIC DIPPER English Logic and Expression I (数研出版)	副教材等	BIC DIPPER English Logic and Expression I ワークブック		

1. 学習の到達目標

- ・「話すこと（やりとり・発表）」「書くこと」を中心とした総合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考え方などを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。
- ・インターネット学習教材『すらら』を通じて、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に着ける。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えさせる。
- ・説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えさせ、聞き手に伝わるように音読させる。
- ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合わせ意見の交換をさせる。
- ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書かせる。
- ・副教材を用いて、文法事項の定着を図る。

3. 学習上のメッセージ

- ・予習・復習を徹底すること。
- ・教科書・ノートは毎時間持参すること。
- ・提出物は期限を守り、必ず提出すること。
- ・ノートの作成をすること。（本文・訳・板書事項を必ず写し、配付されたプリントはきれいに貼る）
- ・英語における 4 技能を活用する授業のため、欠席・遅刻をせず、積極的に授業に参加すること。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次のつの観点から行う。

知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙・表現、文法を、4 技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自立的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

- このための評価は具体的に次の物を対象とする。
- ①年3回の定期考査
 - ②板書を写したノート, プリントの提出
 - ③日々の授業に対する積極性や出席状況
 - ④本校生徒としての規則に則った服装での学習参加

以上の点から評定は総合的に判断し, 決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教材項目	指導内容と評価のポイント
Lesson 1 はじめに①	「だれが」「～する」をはっきりと	英文の基本構造（主語＋動詞＋…）／itの用法 日本語で省略される主語などに注意して, 英語の文を表現できる. 日常行うことや, 天候などについて英語で表現できる.
Lesson 2 はじめに②	動詞をうまく使おう	適切な動詞を用いた表現／there is 構文 伝えたい内容を, 適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる. 日常行うことや, 「～がある [いる] 」という内容を, 英語で表現できる.
Lesson 3 はじめに③	名詞の数などに気をつけよう	名詞（可算・不可算）／冠詞 名詞が, 数えられるか, 特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる. 友人や食べ物などの, 身の回りのことについて, 英語で表現できる.
Lesson 4 My Friends	肯定文・否定文／疑問文	① is/is not [isn' t] / don' t, etc. ② Is ~? / Does ~? / Where ~?, etc. 「～である [ない] 」 「～ですか [しますか] 」などを英語で表現できる. 友人など, 身の回りの人について英語で表現できる.
Lesson 5 My Family	現在・現在進行形／過去・過去進行形	① 現在形と現在進行形 ② 過去形と過去進行形 「～する [している] 」 「～した [していた] 」などを英語で表現できる. 家族など, 身の回りの人について英語で表現できる.
Lesson 6 Pastime	未来表現	① 現在完了（進行形） ② 過去完了（進行形） 未来に行うことについて, 英語で表現できる. 余暇の予定や計画などについて, 英語で表現できる.
Lesson 7 My Town	現在完了形／過去完了形	① 現在完了（進行形） ② 過去完了（進行形） 現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる. 自分の町や身の回りの状況について, 英語で表現できる.
1 学期期末試験		
Lesson 8 Our Teachers	助動詞①	① can/may [可能・許可] ② may/must/can' t [推量] 能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる. 先生や学校での生活について, 英語で表現できる.

Lesson 9 Visiting a Museum	助動詞②	① should/must [提案・義務, 必要] ② 助動詞+have+過去分詞 必要・義務や, 過去についての推量・後悔などを英語で表現できる. 催し物や行動・活動などについて, 英語で表現できる.
Lesson 10 Famous People	文型	① 〈SVC〉 / 〈SVO〉 ② 〈SV00〉 / 〈SVOC〉 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる. 有名人などについて, 英語で表現できる.
Lesson 11 Reading	受け身	① be動詞+過去分詞 ② be known to/be satisfied with, etc. 「～される [されない]」「～に満足している」などを英語で表現できる. 読書や感情に関連する事柄などについて, 英語で表現できる.
Lesson 12 Studying Abroad	不定詞①	① 名詞的用法 ② how to do/形容詞的用法 「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる. 希望や目標, 物事を行う方法などについて英語で表現できる.
Lesson 13 Advice	不定詞②	① 副詞的用法 ② ask ~ to do/see[let] ~ do [原形不定詞], etc. 「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる. 助言や頼み事などについて英語で表現できる.
Lesson 14 Hobbies	動名詞	① 名詞的用法/意味上の主語 ② to-不定詞と動名詞 「～すること」などを英語で表現できる. 趣味やその他の日常の活動について, 英語で表現できる.
2 学期期末試験		
Lesson 15 My Vacation	分詞	① 形容詞的用法 ② SV+分詞/SVO+分詞 「～している [された] …」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる. 休暇での出来事などについて英語で表現できる.
Lesson 16 In a Zoo	比較①	① as ~ as .../not as ~ as ... ② ~er than .../more ~ than ... 2つのものを比べて, 「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる. 動物の特徴や人の行動について, 他と比較して英語で表現できる.
Lesson 17 Our Team	比較②	① the ~est/the most ~ ② twice as ~ as .../as ~ as one can, etc. 「最も～」「2 倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる. 学校での活動などについて, 他と比較して英語で表現できる.
Lesson 18 Neighbors	関係詞①	① who, which [主格] ② whom, which [目的格] 「～する人/物」「…が～する人/物」などを英語で表現できる. 近所の人などについて, 簡単な説明を加えて英語で表現できる.

Lesson 19 Speeches	関係詞②	① what/what we call, etc. ② where, when, etc. [関係副詞] 「…が～すること」「…が～する場所 [時]」などを英語で表現できる。 友人の話や場所・時などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。
Lesson 20 My Wish	仮定法	① 仮定法過去/仮定法過去完了 ② I wish+仮定法 事実と異なる状況[願望など]を英語で表現できる。 自分の願望などの仮定の話について、英語で表現できる。
Lesson 21 A Birthday Gift	接続詞	① 名詞節を導く that, if [whether] ② 副詞節を導く when, because, if 名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。 プレゼントを贈る場面などについて、英語で表現できる。
3 学期 学年末試験		